

RefWorks (文献情報管理・論文作成支援ツール)の導入

湯川 亜矢 (情報管理課)

2006年6月より、Webベースの文献情報管理・論文作成支援ツール「RefWorks」のサービスを開始しました。

1. RefWorksとは

RefWorksは、文献情報の収集・管理と、収集した文献を利用した論文作成を支援するツールです。

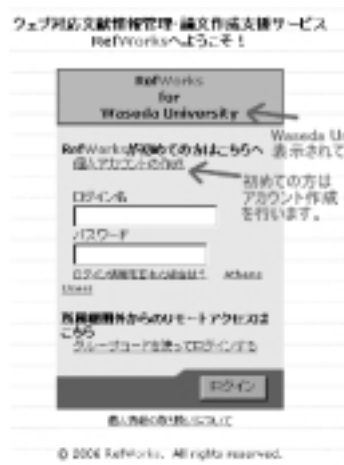
図書館の蔵書検索システムや各種文献データベースから収集した文献情報をRefWorksのサーバー上で保管・管理し、自分だけの文献データベースを構築することができます。

登録したデータを使い、指定したフォーマットで参考文献リストを自動作成する機能も備えており、文献調査や論文・レポート作成はもちろんのこと、引用のルールや、論文・レポート作成方法を学生に指導する際にもご活用いただけます。

2. RefWorksへのログイン

RefWorksの一番の特徴は、Webベースのサービスであるということです。早稲田大学に在籍する教職員・学生は、特別なソフトウェアをインストールしたり、個人で費用を負担したりすることなく、誰でも自由に利用することができます。

RefWorksログイン画面



初めて利用する際には、まず大学のネットワークに接続したコンピュータから、個人アカウントを作成します。インターネットに接続したコンピュータとWebブラウザがあれば、次回からは作成したアカウントを利用して、自宅など、どこからでもアクセスできます。

アカウント作成やログインの方法など、RefWorksの詳しい利用方法は、図書館「学術情報検索」のRefWorksログイン画面¹⁾をご覧ください。

3. 蔵書検索システムWINEからの取り込み

RefWorksでは、図書館の蔵書検索システムWINE²⁾の検索結果を簡単に取り込むことができます。検索結果の詳細表示画面に表示される「RefWorks」ボタンをクリックすると、書誌情報が取り込まれます。

WINEからの取り込み



4. 文献データベースからの取り込み

WINEの他にもさまざまな文献データベースから検索結果をRefWorksに取り込むことができます。取り込みの方式には、1) **ダイレクト・インポ**

¹⁾ <http://www.wul.waseda.ac.jp/imas/refworks/>

²⁾ <http://wine.wul.waseda.ac.jp/>

ート（検索結果をRefWorksに直接取り込む）と、2)フィルターによるインポート（検索結果をいったんテキスト形式などで保存し、それをRefWorks上のフィルターで変換して取り込む）があります。主な対応データベースは以下のとおりです。

ダイレクト・インポート：

- CiNii（国立情報学研究所）
- ABI/INFORM（ProQuest）
- CSA Illumina
- EBSCOhost、Business Source Complete（EBSCO）
- FirstSearch、NetLibrary（OCLC）
- Google Scholar
- ScienceDirect、Scopus（Elsevier）など

フィルターによるインポート：

- JDreamII（科学技術振興機構）
- CNKI中国学術情報データベース
- ACS Publications
- Web of Science（Thomson）
- Wiley InterScience など

5. 参考文献リストの作成

登録したデータを利用して、参考文献リストを作成することもできます。RefWorksにはMLAやAPAなどの標準的なスタイルや、主要な雑誌の投稿規程にそったフォーマットがあらかじめ登録されています。

既存のフォーマットを編集して、独自のフォーマットを作成することや、学内で共有することもできます。例えば、卒業論文・修士論文用に指定されたフォーマットを登録しておく、紀要の投稿規程にそったフォーマットを登録し、学内で共有するといった利用方法が考えられます。

また、Write-N-Citeというプラグインソフトをインストールすると、Microsoft Wordで論文を執筆しながら、文中での引用や、参考文献リストの作成が簡単にできます。引用のルール、参考文献リストの書き方について学生に指導する際にも、最適なツールです。

6. オンライン・チュートリアル作成

RefWorksの広報の一環として、2006年11月に「RefWorks入門」（日本語版・英語版）³⁾と題したオンライン・チュートリアルを公開しました。

この「RefWorks入門」は、遠隔教育センターで開発しているオンデマンド授業作成システムを利用し、早稲田大学ラーニングスクエアの協力を得て作成したものです。講義の映像とスライドが連動して表示されるオンデマンド形式のコンテンツとなっており、「いつでも」「どこからでも」「繰り返し」見ることができるのが特徴です。講師は、日本語版をRefWorksの指定販売代理店であるサンメディア、英語版を提供元であるRefWorksに依頼しました。

内容は、RefWorksの概要、ログイン方法、データのインポート、データの管理、参考文献作成など、RefWorksを初めて使う方に、基本的な使い方を解説したものとなっています。

「RefWorks入門」



図書館ではこれまでも各館で新入生オリエンテーション、情報検索講習会などを企画・開催し、情報リテラシー支援への取り組みを行ってまいりましたが、2006年度からは、「情報リテラシー業務」が図書館情報管理課の業務に正式に追加されました。今後は、必要な時に、必要なコンテンツを、より多くの方にご利用いただけるよう、インターネットを活用したオンデマンドの支援を充実させていきたいと考えています。この「RefWorks入門」の作成も、そうした取り組みのひとつです。RefWorksとともに、授業の中でもご活用いただければ幸いです。

³⁾ <http://wul.waseda.ac.jp/imas/guide/tutorial.html>